

August 8, 2019

**【前日の為替概況】ドル円、ダウ平均 589ドル下落で 105.50 円まで下落後、106.27 円へ反発**

7日のニューヨーク外国為替市場でドル円は反落。終値は106.27円と前営業日NY終値(106.47円)と比べて20銭程度のドル安水準だった。米中貿易摩擦が激化・長期化し、世界経済の先行き不透明感が増す中で、ニュージーランドやインド、タイの中央銀行がこの日、政策金利の引き下げを相次いで決定。このため前日にいったん和らいでいた市場のリスクオフムードが再燃し、米株安と米債高につながった。米株安に伴う円買い・ドル売りと米金利低下を受けた円買い・ドル売りが入り105.50円まで下落した。

しかし、一時は580ドル超下落したダウ平均がプラス圏を回復し、低調な米10年債入札をきっかけに米長期金利が上昇に転じたため、ドル円にもショートカバーが入った。日経平均先物が2万0200円から2万0640円まで急速に持ち直したことも相場の支援材料となり、106.27円付近まで値を戻して引けた。

トランプ米大統領はツイッターで「我々の問題は中国ではない。米連邦準備理事会(FRB)だ。FRBは大幅で迅速な利下げを実施するべき」と述べ、米連邦公開市場委員会(FOMC)で投票権を有するエバンズ米シカゴ連銀総裁は「リスクが増大しており追加緩和が必要になる可能性がある」などと述べた。

ユーロドルは横ばい。終値は1.1199ドルと前営業日NY終値(1.1199ドル)とほぼ同水準だった。米10年債利回りが一時1.5931%前後と2016年10月上旬以来およそ2年10カ月ぶりの低水準を付けるとユーロ買い・ドル売りが先行。1時30分前に一時1.1242ドルと日通し高値を付けた。ただ、前日の高値1.1250ドルがレジスタンスとして意識されると値を消した。入札をきっかけに米10年債利回りが1.7342%前後まで急伸したことも相場の重しとなった。

ユーロ円は3営業日ぶりに反落。終値は119.02円と前日NY終値(119.24円)と比べて22銭程度のユーロ安水準。21時過ぎに一時118.44円と本日安値を付けたものの、ドル円や米国株が持ち直すとユーロ円にも買い戻しが入り119.10円付近まで上げた。

南アフリカランド円は節目の7円を割り込んで一時6.96円と2016年7月11日以来の安値を付けたが、米国株が持ち直すと下げ渋った。南アでは国営企業を巡る問題や失業率の悪化、格下げ懸念などがあり通貨ランドを積極的に買えない状況が続いている。

**【本日の東京為替見通し】ドル円、中国の7月対米貿易黒字と中国人民銀行「基準値」に注目か**

本日の東京市場のドル円は、米中貿易・通貨安戦争が始まっている中で、中国の7月の対米貿易黒字、そして、中国人民銀行が10時15分頃に公表する外国為替市場での人民元取引の基準値となる「中間値」に注目する展開となる。

今年1月から6月までの中国の対米貿易黒字は、1404億ドルとなり、昨年同時期の1340億ドルから増大しており、トランプ政権による対中制裁関税が米中貿易不均衡を是正できていないことが示されている。

- ・第1弾：340億ドル(2018年7月6日：25%)
- ・第2弾：160億ドル(2018年8月23日：25%)
- ・第3弾：2000億ドル(2019年5月10日：25%)
- ・第4弾：3000億ドル(2019年9月1日：10%)

本日発表される中国の7月の貿易黒字は、5月10日に発動された対中制裁関税第3弾(2000億ドル)の影響が予想されるため、対米貿易黒字の増減に要注目となる。

また、中国人民銀行が10時15分頃に公表する外国為替市場での人民元取引の基準値は、5日が6.9225元、6日が6.9683元、7日は6.9996となり、トランプ米政権がレッドラインと見なしている「7元」に接近していることで、本日も「破七・守七」の攻防に要注目となる。

ドル・人民元は4月以来5%程度上昇しているが、10%~25%上昇した場合、対中関税10%~25%を相殺することになり、中国側の対抗措置となっている。

リスクシナリオは、2008年以来のドル・人民元水準、1994年以来の為替操作国認定により、米財務省が2000年以来となるドル売り介入に乗り出す可能性となる。

昨日の米国10年債入札は不調となり、米10年債利回りは1.5931%から1.7342%まで上昇している。世界最大の米国債保有国である中国が報復措置として米国債の売却に乗り出す可能性、トランプ米政権が、関税引き上げや金利引き下げに続く手段として、ドル売り介入に乗り出す可能性が警戒されており、米国外の投資家は米国債への投資を躊躇しているのかもしれない。

## 【本日の重要指標】 ※時刻表示は日本時間

## &lt;国内&gt;

- 08:50 ◇ 対外対内証券売買契約等の状況（週次・報告機関ベース）
- 08:50 ◎ 6月国際収支速報
  - ◇ 経常収支（予想：季節調整前6914億円の黒字／季節調整済1兆1400億円の黒字）
- 14:00 ◇ 7月景気ウォッチャー調査（予想：現状判断指数43.6／先行き判断指数45.4）

## &lt;海外&gt;

- 08:01 ◇ 7月英王立公認不動産鑑定士協会（RICS）住宅価格（予想：▲1）
- 未定 ◎ 7月中国貿易収支（予想：426.5億ドルの黒字、3100億元の黒字）
- 20:00 ◎ 7月メキシコ消費者物価指数（CPI、予想：前月比0.37%）
- 21:00 ◎ 7月ブラジルIBGE消費者物価指数（IPCA、予想：前月比0.24%）
- 21:30 ◇ 6月カナダ新築住宅価格指数（予想：前月比横ばい）
- 21:30 ◎ 前週分の米新規失業保険申請件数／失業保険継続受給者数（予想：21.5万件／169.0万人）
- 23:00 ◇ 6月米卸売売上高（予想：前月比0.2%）
- 23:00 ◇ 6月米卸売在庫（予想：前月比0.2%）
- 9日 02:00 ◎ 米財務省、30年債入札

※「予想」は特に記載のない限り市場予想平均を表す。▲はマイナス。

※重要度、高は☆、中は◎、低◇とする。

## 【前日までの要人発言】

7日 11:08 ニューージーランド準備銀行(RBNZ)声明

「雇用やインフレの目標達成のためにさらなる利下げが必要であることに委員は合意」

「GDP 成長率は鈍化し、成長への逆風が強まっている」  
「インフレは目標範囲内であるが、2%の中間値を下回っている」

「追加緩和がなければ、雇用とインフレが目標に向けて進まない可能性が高い」

「本日の利下げはインフレを目標範囲の中間点まで確実に上昇させ、雇用を最大持続可能な水準に維持するという我々の継続的なコミットメントを示している」

7日 12:07 オア NZ 準備銀行(RBNZ)総裁

「本日の決定はさらなる行動を排除しない」

「最大の課題は世界的な低金利がどうなるか」

「将来的にマイナス金利を導入しなければいけない可能性」

7日 16:39 ドノホー・アイルランド財務相

「バックストップはブレグジットの合意案に入らなければならない」

7日 21:52 トランプ米大統領

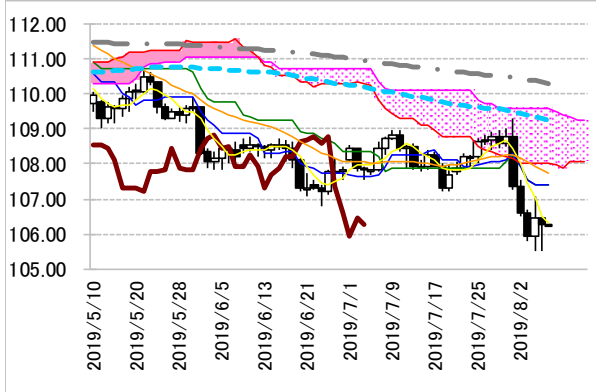
「FRB はより大幅により早く金利を引き下げ、ばかげた量的引き締めを今すぐに止めるべき」

8日 01:21 エバンズ米シカゴ連銀総裁

「リスクが増大しており追加緩和が必要になる可能性がある」

※時間は日本時間

## 〔日足一目均衡表分析〕

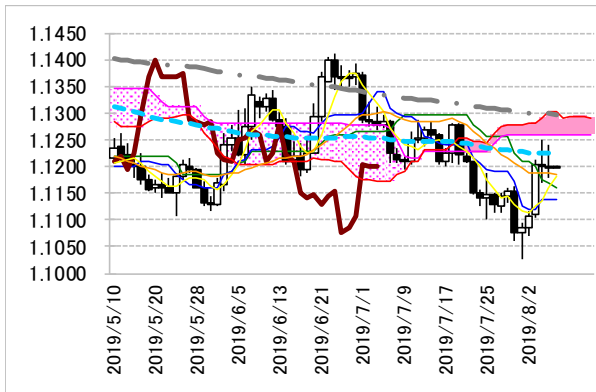


### <ドル円＝転換線・基準線を抵抗に戻り売りスタンス>

下影陰線引け。一目・転換線は一目・基準線と同値だが、遅行スパンは実線を下回り、雲の下で推移していることで、売りシグナルが優勢な展開となっている。6日安値 105.52円と7日安値 105.50円で「毛抜き底」の可能性が示唆されており要警戒か。

本日は、転換線・基準線を抵抗に戻り売りスタンスで臨み、同線を上回った場合は手仕舞い。

レジスタンス 1	107.41(日足一目均衡表・転換線＝基準線)
前日終値	106.27
サポート 1	105.50(8/7 安値)
サポート 2	104.87(1/3 安値)

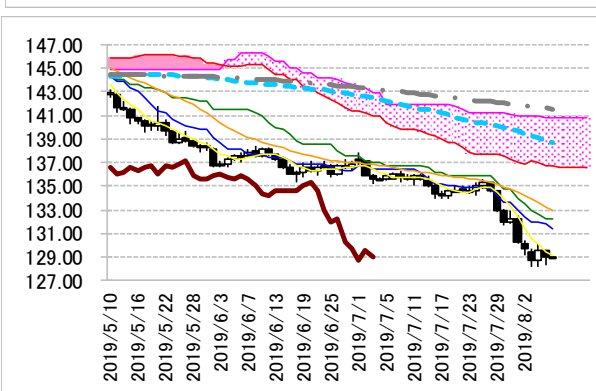


### <ユーロドル＝転換線を支持に押し目買いスタンス>

寄引同事線引け。一目・転換線は一目・基準線を下回り、遅行スパンは実線を下回り、雲を下回っていることで、三役逆転の強い売りシグナルが点灯している。1日の安値 1.1027ドルから3手連続陽線で反発していたものの、昨日は高値圏での寄引同事線で反落の可能性が示唆されており要警戒か。

本日は、転換線を支持に押し目買いスタンスで臨み、同線を下抜けた場合は手仕舞い。

レジスタンス 1	1.1260(日足一目均衡表・雲の下限)
前日終値	1.1199
サポート 1	1.1139(日足一目均衡表・転換線)

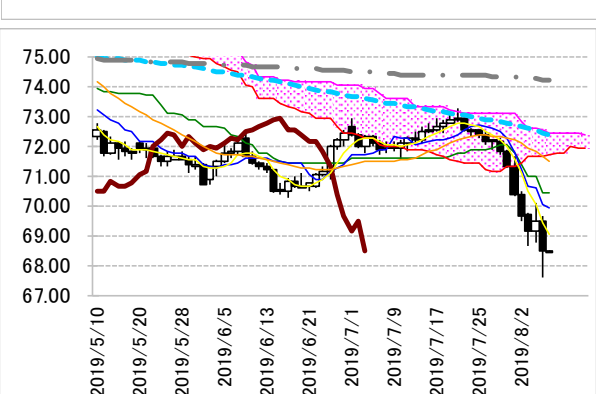


### <ポンド円＝8/1 安値を抵抗に戻り売りスタンス>

陰線引け。一目均衡表・転換線は一目・基準線を下回り、遅行スパンは実線を下回り、雲を下回っていることで、三役逆転の強い売りシグナルが点灯している。底値圏での6日の抱き線、7日の被せ線によりもみ合いとなっており、反発の可能性が示唆されていることで要警戒か。

本日は、8月1日の安値を抵抗に戻り売りスタンスで臨み、同水準を上抜けた場合は手仕舞い。

レジスタンス 1	130.14(8/1 安値)
前日終値	129.04
サポート 1	128.12(8/6 安値)



### <NZドル円＝転換線を抵抗に戻り売りスタンス>

下影陰線引け。一目・転換線は一目・基準線を下回り、遅行スパンは実線を下回り、雲の下で推移していることで、三役逆転の強い売りシグナルが点灯中。しかし、7月22日の寄引同事線から陰線新安値 11手で下落しており、「新値 8手10手は酒田の骨子」からは、警戒域に突入している。

本日は、転換線を抵抗に戻り売りスタンスで臨み、同線を上抜けた場合は手仕舞い。

レジスタンス 1	69.90(日足一目均衡表・転換線)
前日終値	68.49
サポート 1	67.58(8/7 安値)

